

# (株)山佐組

関市・建設業

従業員数 / 男性30名 女性4名 計34名 ※令和7年10月現在

エクセレント  
POINT

- ① SNSの有効活用で若者に建設業の魅力をPR
- ② 社員の状況を考慮した働き方を推進
- ③ 資格取得に必要な費用は全額負担でモチベーションアップ

建設業



充実したスキル支援のおかげで資格取得者が増えている。



パワハラ防止講習を開催し、働きやすい環境を整備。

認めるなどして  
いる。大病を患  
い、退職を願  
い出たベテラン社  
員には、しっかり  
話し合っ  
て会社に残  
ってもらうた  
り、時短勤務で若手  
を育成する業務  
に就いてもら  
った例もある。  
仕事と介護休  
暇の両立にも注  
力。社員から要

望があれば相談を受け、最適な働き方をお互いに考える。また、年1回のストレスチェックやパワハラ防止講習を実施し、相談の機会を設けて社員の声を聞いている。  
さらに、社員のスキルアップ向上のために、仕事に必要な資格や講習などに必要な費用は会社側が全額負担。おかげで資格や免許を積極的に取得しようとする社員が増え、仕事へのモチベーションアップにつながっている。

ICT導入で工期短縮と人員配置の効率化を実現

山佐組では業務効率化のため、2017年から現場工事の作業にICTを導入。半自動的に操縦できるマシンコントロール(MC)機能を持つ建設機械の活用で工程が短縮され、測量に必要な人員が半減し、経験の少ない若手社員でも操作が容易になった。業務内容や進捗状況が共有化され、社員同士のサポートが円滑になり、有休が取得しやすい環境になっている。  
地元の高校生を対象にした現場

見学会では、ICTを活用した作業を紹介するなどして建設業の魅力PR。インスタグラムやTikTokなどSNSも有効的に活用している。  
また、社員が病気で長期入院が必要な場合などには面談を行い、勤務時間や職務内容の変更に柔軟に対応。各自の状況に合わせて、時短勤務を選択することも可能にした。退院後に副作用に悩まされた社員には、在宅勤務や時短勤務を



操作が容易なICTを取り入れ、若手社員も建設機械を活用。